

ミヤクミヤクと継承すべきもの



一実りを実感 3年生の姿—

校長 山浦 麻紀

コスモス

花言葉・・「美しい」

10月は、終盤になって秋らしい爽やかな天候に落ち着いてきました。春に種をまき、夏のエネルギーを蓄え、立派に成長した食物などを収穫する季節です。学校においても多くの成果を収穫できた（発表・結果を出す）9月、10月でした。特に、3年生は、1、2年生の経験や知識を踏まえ、「中学生はここまで成熟することができる。」ことを下級生に示してくれました。

10月初旬の新人大会では、バドミントン部の団体戦での県大会をはじめ、多くの部活動が素晴らしい成果を収めてくれました。陸上部は、関東大会まで進んでいます。応援をしていて強く感じたことは、最後まであきらめない粘り強さとチームワークが素晴らしいということでした。どの部活も、その姿勢は同じでした。これは、学校総合大会の時にも感じたことです。良き上級生を見て、下級生は追いつき、追い越そうと努力します。1、2年生もこれから岸中の伝統を受け継ぎ、目標とされる先輩になってくれることでしょう。このように、よい伝統が引き継がれることは本当に素敵だと思います。

10月21日（火）に荒川総合運動公園に於いて男子63校、女子63校の参加のもと市内駅伝競走大会が開催されました。本校は、1・2・3年生で構成された68名の学校代表の選手が朝も夕も練習に励み、本番でも櫻（たすき）を必死で繋いでくれました。彼らの自らを鍛え上げる強さ、周囲への感謝を示す人としての美しい姿勢は来年度もしっかりと受け継いでくれることでしょう。

10月中旬には、岸中ならではの国際交流事業が行われました。36年前から、カナダ西海岸の大都市バンクーバーに隣接する学校と交流を深めております。今年度も、3年生と2年生の30名の生徒がコミュニケーション力を大いに發揮し、日本のよさや岸中学校のよさを思いっきり伝えてくれました。とりわけ、異国においても「ハロー」と笑顔で挨拶する岸中生は素晴らしいとお褒め頂きました。そして、お陰様で、ここ3年間で交流を深めることのできたパシフィック アカデミー校と正式に友好協定を結ぶことができました。これもひとえに、子どもたち、御理解御協力いただいております保護者の方々、地域の方々、同窓会の皆様方のお力だと心より感謝申し上げます。

そして、10月30日（木）つぼみの日には、学区内の各小学生6年生の皆さんのが元気に訪ねてきました。本校生徒が小学生に中学校生活への期待を膨らませてもらおうと、中学校生活の様子の説明をICTで紹介したり、部活動を楽しく実演したりしました。これもまた良き伝統です。

2学期は文化祭から始まり、新人大会・駅伝大会・国際交流・つぼみの日と休む間もなく行事が続きましたが、生徒のみなさんはそれぞれの学年にふさわしい成果をあげてくれました。また、先輩方から引き継いだ伝統を守り、前へ前へと進化させてくれています。この姿はこれからもずっと引き継がれていくことでしょう。岸中の伝統に感謝です。

市内においてインフルエンザが多くなっている様子です。体調管理と予防に心がけてください。